

2026 年度第 1 回 ガラス科学技術研究会のご案内

協賛：公益社団法人 日本セラミックス協会 ガラス部会

「アモルファス酸化物半導体」

一般社団法人ニューガラスフォーラム

2026 年度第 1 回ガラス科学技術研究会では、「アモルファス酸化物」をテーマに、東京科学大学の細野秀雄先生にご講演いただきます。

細野秀雄先生は、アモルファス酸化物半導体「IGZO」を創出し、電子デバイス材料の概念を刷新した世界的研究者です。物質高移動度とスイッチ特性を備えたアモルファス IGZO は、高精細・低消費電力ディスプレイを可能にした革新的材料として実用化され、産業界を変えました。本講演では、IGZO 誕生の科学的背景と、切り拓かれた新たなアモルファス酸化物エレクトロニクスの地平をご紹介します。

今回のガラス科学技術研究会は対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド方式で行います。また参加者同士の交流を深めるために、講演終了後に**技術交流会**を行いますので、ぜひご参加ください。

1. 日時：2026 年 7 月 24 日（金）

講演：15:00～16:45

技術交流会：16:45～18:00

- 立食形式で、アルコール／ソフトドリンクと軽食のご提供を予定しています。
- 細野先生は技術交流会へのご参加を予定しておりますが、当日のご事情によりご参加いただけない可能性があります。

2. 場所：日本ガラス工業センター 地下会議室

住所：東京都新宿区百人町 3-21-16

アクセス：JR 山手線 新大久保駅から徒歩 6 分

（ZOOM によるオンラインと併用利用予定）

3. プログラム

3-1. 事務連絡 15:00～15:05

3-2. 開会挨拶 15:05～15:10

斎藤 全 ガラス科学技術研究会主査（愛媛大学 教授）

3-3. 講演

15:10～16:40（講演 75 分、質疑応答 15 分）

「アモルファス酸化物半導体」

細野 秀雄 先生（東京科学大学 栄誉教授・特命教授、物質・材料研究機構特別フェロー）

【要旨】

現在、ディスプレイの駆動に広く使われているアモルファス酸化物半導体 IGZO について紹介する。

酸化物といえばエレクトロニクスでは誘電体であり、まさかアクティブな半導体として大規模に応用されるとは思ってもみなかったとの感想を多くの専門家から頂いている。昨今では、TFT のオフ電流（スイッチがオフのときに流れる電流）がシリコンよりも格段に小さいことを利用して、AI 半導体用のメモリーへの応用を目指した研究が、世界中で活況を呈している。研究を始めた動機は、アモルファスでも大きな移動度が得られるという化学結合から考えたシンプルなモデルの妥当性を実際の薄膜で試したいという基礎的な興味であった。それが研究費や共同研究者のお陰で発展し、そこに産業界の強いニーズにマッチした結果である。

3-4. 事務連絡 16:40～16:45

4. 研究会参加費について

- 会員企業の方 : 13,000 円
- 非会員企業の方 : 25,000 円
- 官学研究者の方 : 1,000 円 <年間登録者無料>

5. 参加申込み

次の①～⑧の事項を記入の上、**2026年7月17日（金）**までにセミナー研究会窓口まで e-mail にてお申込み下さい。追って請求書を送付いたします。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| ① 氏名（フリガナ） | ② 所属（会社名・部署） |
| ③ E-mail アドレス | ④ 住所 |
| ⑤ TEL 番号 | ⑥ 参加を希望するセミナー・研究会名 |
| ⑦ 希望する参加方式（現地参加または Web 参加） | ⑧ 現地参加の場合、技術交流会への出欠 |

6. 問い合わせ先

一般社団法人ニューガラスフォーラム

セミナー研究会窓口（yamamoto@ngf.or.jp） 担当：神吉（かんき）

〒169-0073 東京都新宿区百人町 3-21-16 日本ガラス工業センター2F

TEL:03-6279-2605 FAX:03-5389-5003

以上